

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	理美容サービス事業	2-4
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		2

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	大浦 正美

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	理・美容師が訪問し、散髪等を行う。 ・4月～7月までの申請の方、年3回 ・8月～11月までの申請の方、年2回 ・12月～3月までの申請の方、年1回		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らせるまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	在宅の寝たきり高齢者等が、居宅で散髪等を受けることができるようにすることで、快適な在宅生活を送ることができる。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	利用者の散髪を行うことで保健衛生の向上が図られる。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	社会福祉法人石狩市社会福祉協議会に委託している。 自己負担:散髪のみ 1,500円、散髪+顔そり 2,000円
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ふとんクリーニングサービス事業、高齢者外出支援サービス事業
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	54	54	54	54
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	432	1,243	897	/
総事業費((1)～(3)の合計:千円)	486	1,297	951	/
事務に従事した正職員延べ人数	0.05	0.15	0.10	/

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)						運営費				
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	35	8	8	/
	達成率	-	-	-	/
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
延べ利用回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	38	17	17	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性			
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	3	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	
(2) 効率性			
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	
(4) 有効性			
ア 施策との関連	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	2	
イ 成果	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2	
ウ 事業内容	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2	
(1)~(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
7~11		A or B	15
12~15		B or C	
16~21		D or E	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	高齢者の在宅支援事業として必要であるが、利用者は減少している。	
(2) 今後の方向性・課題		高齢者支援事業の一環として継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	介護保険制度発足当時から要介護者の在宅支援の事業として適切に実施している。	
(2) 今後の方向性・課題		利用者が減少しており、市民ニーズの把握など事業の検証が必要。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
現利用者の利便性を確保しつつ、社会福祉審議会の意見などを参考に事業の検証を進める。			